

令和3年青森県人口動態統計(概数)の概況 ＜概要版＞

令和4年6月
青森県健康福祉部健康福祉政策課

令和3年青森県人口動態統計（概数）に関する部長コメント

- 1 厚生労働省の発表によると、青森県の出生数は前年比324人減の6,513人と過去最少となりました。合計特殊出生率は1.31と減少傾向が続いていますが、これは合計特殊出生率の算出に用いられる15歳から49歳までの女性人口の減少も影響しており、全国と同様の傾向となっています。
- 2 死亡については、三大生活習慣病による死亡が増えたこと等により、死亡数は前年比879人増の18,784人、人口10万対の死亡率は前年比91.6ポイント増の1,544.7と数・率ともに戦後最大となりました。
なお、高齢化に伴い老衰による死亡が年々増加しているほか、感染対策の推進に伴い肺炎による死亡が減少しており、これらは全国と同様の傾向となっています。
また、今回初めて公表された新型コロナウイルス感染症による死亡率は2.5であり、全国値の13.6を大きく下回りました。
- 3 出生数から死亡数を差し引いた人口の自然減は12,271人と過去最大となりました。
- 4 乳児・新生児・周産期の死亡数・死亡率は、いずれも減少し改善しました。
- 5 その他の主な状況ですが、自殺は前年比46人増の284人、婚姻は前年比296組減の3,736組となりました。
- 6 本日、厚生労働省及び県が公表した数値は、出生、死亡、婚姻、離婚等の人口動態事象に係るもののうち限られた数値の概数であるほか、令和3年は前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が一定程度あった可能性もあり、単年の結果により状況の悪化又は改善を判断することは困難と考えます。
今後、6月下旬に厚生労働省から公表される更に詳細な死因別のデータや、秋に公表される確定数のデータ等をはじめできるだけ多くの情報を確認した上で、本県の状況を分析しながら課題に応じた対策を進めていきます。

＜調査結果のポイント＞

1 出生数は減少が続いており、過去最少。15～49歳女性人口の減少等により合計特殊出生率は低下傾向。

○出生数 R3 : 6,513人 (△324人) ← R2 : 6,837人

○合計特殊出生率 R3 : 1.31 (全国34位) ← R2 : 1.33 (全国34位) ※全国 R3 : 1.30 ← R2 : 1.33

2 三大生活習慣病による死亡が前年比284人増え、全体の死亡数・死亡率が戦後最大。老衰による死亡は高齢化に伴い増加傾向。

		死亡数			死亡率(人口10万対)		
		R3	R2	増減	R3(全国値)	R2(全国値)	増減(全国値)
総数		18,784人	17,905人	+879人	1,544.7(1,172.7)	1,453.1(1,112.5)	+91.6(+60.2)
三大生活習慣病	悪性新生物	5,135人	4,988人	+147人	422.3(310.7)	404.8(306.6)	+17.5(+4.1)
	心疾患	2,810人	2,714人	+96人	231.1(174.8)	220.3(166.6)	+10.8(+8.2)
	脳血管疾患	1,496人	1,455人	+41人	123.0(85.2)	118.1(83.5)	+4.9(+1.7)
老衰		1,801人	1,606人	+195人	148.1(123.8)	130.3(107.3)	+17.8(+16.5)

3 乳児・新生児・周産期の全てで死亡数・死亡率が減少。

		死亡数			死亡率 (乳児・新生児は出生千対、周産期は出産千対)		
		R3	R2	増減	R3(全国値)	R2(全国値)	増減(全国値)
乳児死亡		11人	18人	△7人	1.7(1.7)	2.6(1.8)	△0.9(△0.1)
新生児死亡		3人	15人	△12人	0.5(0.8)	2.2(0.8)	△1.7(0)
周産期死亡		25件	32件	△7件	3.8(3.4)	4.7(3.2)	△0.9(+0.2)

4 自殺者数は増加。

○自殺者数 R3 : 284人 (+46人) ← R2 : 238人

5 婚姻件数は減少。

○婚姻件数 R3 : 3,736組 (△296組) ← R2 : 4,032組

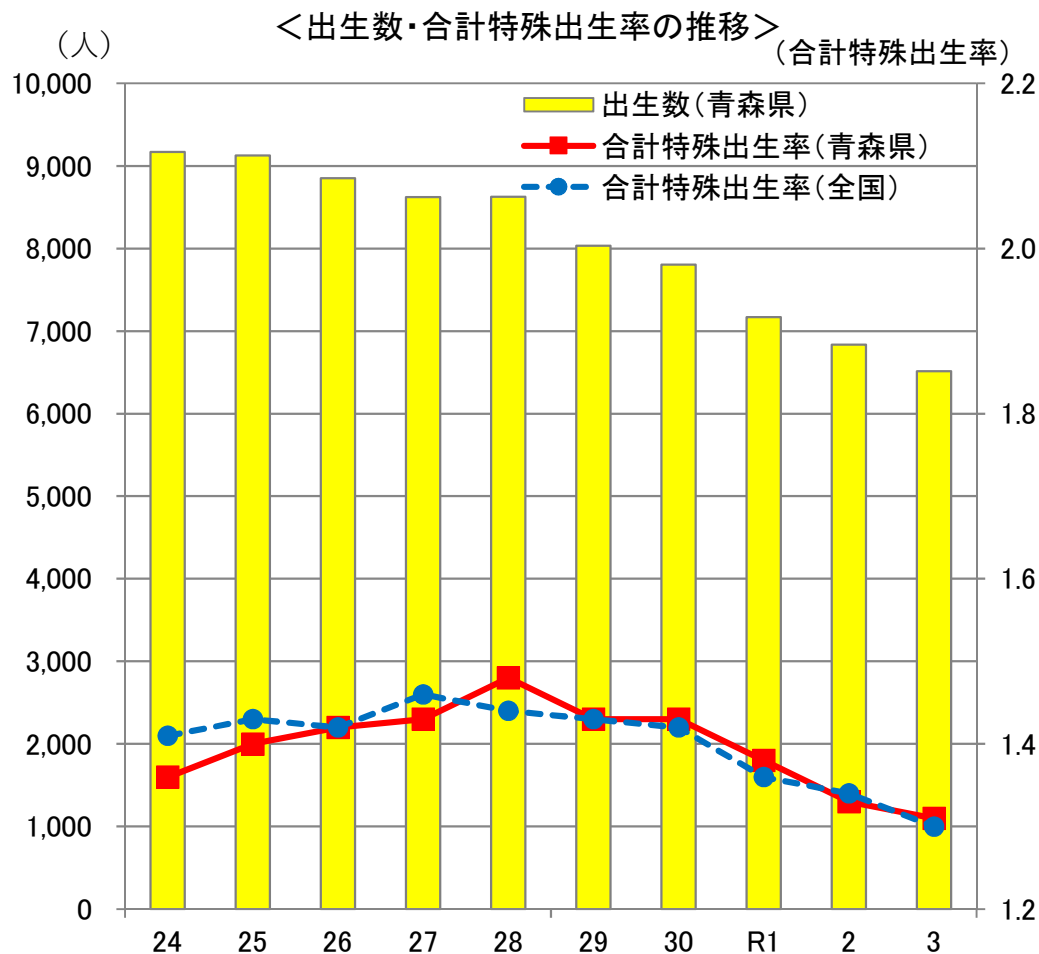
1 出生数は減少が続いており、過去最少。

○15～49歳の女性人口の減少等により、合計特殊出生率は低下傾向。→全国と同様の傾向

○出生数 R3：6,513人（△324人）← R2：6,837人

○合計特殊出生率 R3：1.31（△0.02ポイント）（全国34位）← R2：1.33（全国34位）

※全国 R3：1.30 ← R2：1.33



参考：15～49歳女性人口の推移(青森県)

H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
256,000	250,000	244,000	237,177	232,000	226,000	219,000	212,000	208,402	201,064

県の取組

1 乳幼児はつらつ育成事業

- ・未就学児を対象に市町村が給付した医療費自己負担の2分の1を助成

2 地域子ども・子育て支援事業

- ・市町村が実施する病児保育や一時預かりなどの地域子ども・子育て支援事業を促進し、満足度の高い保育を推進

3 家庭福祉対策教育支援貸付費補助事業

- ・大学進学に当たり必要となる費用の捻出が困難な世帯や、児童養護施設入所児童等に対し奨学金を貸付

4 あおもり働き方改革推進企業認証制度事業

- ・労働者の仕事と子育ての両立への希望を実現するため、「働き方改革」に取り組む企業を認証・支援する「あおもり働き方改革推進企業認証制度」の運用

2 全体の死亡数・死亡率は戦後最大。

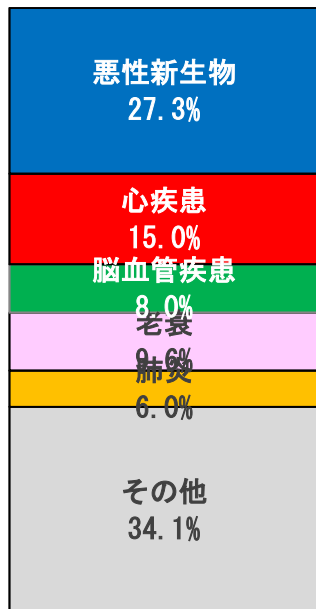
○死亡数は18,784人と前年比879人増、死亡率は1,544.7と前年比91.6ポイント増。

【内訳】・三大生活習慣病による死亡は前年比284人増の9,441人。

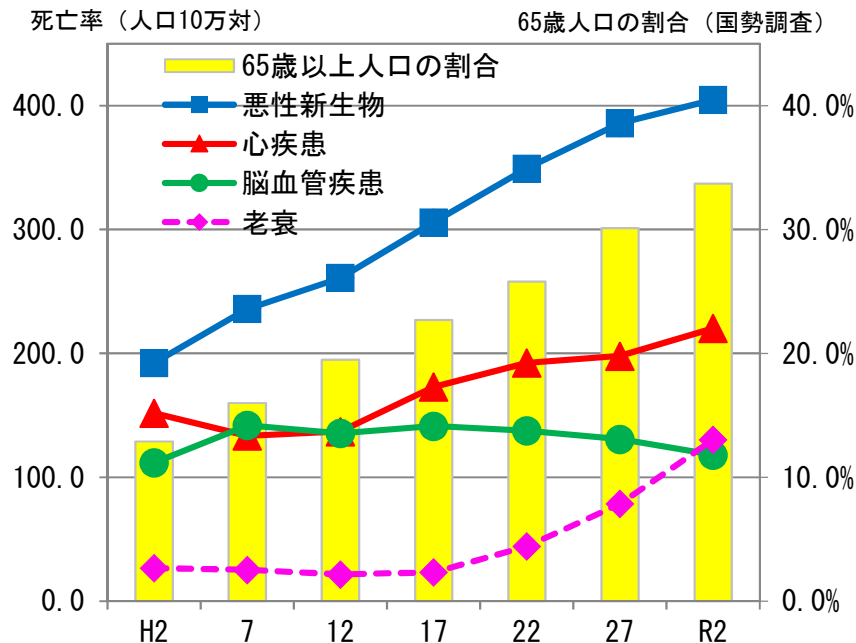
- ・老衰による死亡は高齢化に伴って年々増加しており、前年比195人増の1,801人。→全国と同様の傾向
- ・肺炎による死亡は感染対策の推進により令和2年から特に減少しており、前年比41人減の1,119人。→全国と同様の傾向
- ・新型コロナウイルス感染症による死亡は30人、死亡率は2.5と全国値(13.6)を大きく下回った。

		死亡数			死亡率(人口10万対)								
		R3	R2	増減	R3(全国値)	R2(全国値)	増減(全国値)						
総数		18,784人	17,905人	+879人	1,544.7(1,172.7)	1,453.1(1,112.5)	+91.6(+60.2)						
三大生活習慣病	悪性新生物	計 9,441人	計 4,988人	計 +284人	422.3(310.7)	404.8(306.6)	+17.5(+4.1)						
	心疾患							2,810人	2,714人	+96人	231.1(174.8)	220.3(166.6)	+10.8(+8.2)
	脳血管疾患							1,496人	1,455人	+41人	123.0(85.2)	118.1(83.5)	+4.9(+1.7)
老衰		1,801人	1,606人	+195人	148.1(123.8)	130.3(107.3)	+17.8(+16.5)						
肺炎		1,119人	1,160人	△41人	92.0(59.6)	94.1(63.6)	△2.1(△4.0)						
新型コロナウイルス感染症		30人			2.5(13.6)								

< R3年死因別構成比 >



< 主な死因の死亡率と高齢化の推移 >



県の取組

1 がんの早期発見・早期治療のための取組

- (1)がん検診の精度管理向上等に向けた市町村、関係機関への働きかけ
- (2)市町村が行う大腸がん検診の未受診者対策の支援

2 循環器病対策普及啓発事業

青森県脳卒中・心血管病対策推進計画に基づく、県民に対する循環器病に関する正しい知識の普及啓発

3 生活習慣の改善に向けた取組

運動習慣の定着・改善に向けた機運醸成の促進と、若年世代の野菜摂取促進のための情報発信

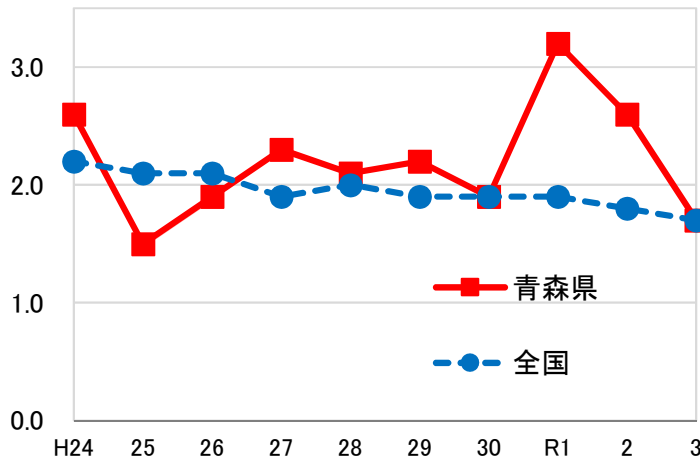
4 職域に向けた取組

- (1)がん検診の受診環境改善に向けた動画配信等
 - (2)県内において「健康経営®」(*)に取り組む事業所を青森県健康経営事業所」と認定(R4.4.30現在352事業所)
- (*)「健康経営®」:特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標

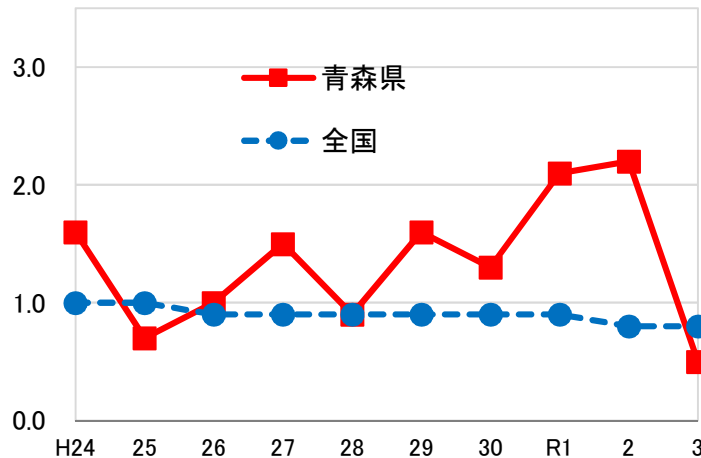
3 乳児・新生児・周産期の全てで死亡数・死亡率が減少。

	死亡数			死亡率 (乳児・新生児は出生千対、周産期は出産千対)		
	R3	R2	増減	R3(全国値)	R2(全国値)	増減(全国値)
乳児死亡	11人	18人	△7人	1.7(1.7)	2.6(1.8)	△0.9(△0.1)
新生児死亡	3人	15人	△12人	0.5(0.8)	2.2(0.8)	△1.7(0)
周産期死亡	25件	32件	△7件	3.8(3.4)	4.7(3.2)	△0.9(+0.2)

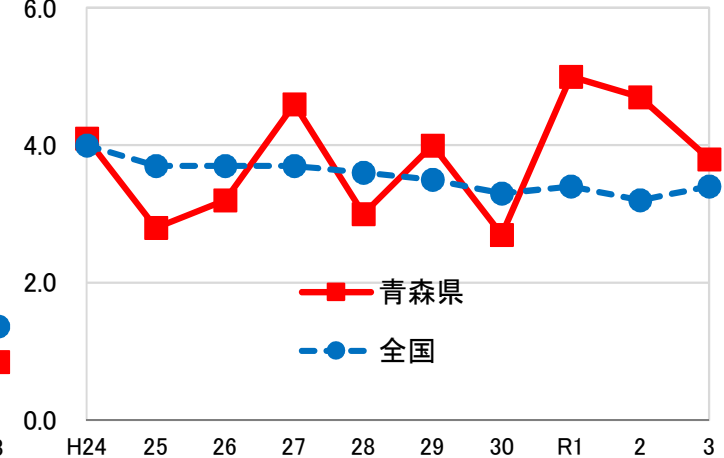
＜乳児死亡率の推移＞



＜新生児死亡率の推移＞



＜周産期死亡率の推移＞



県の取組

1 青森県立中央病院総合周産期母子医療センター (平成16年10月から稼働開始)を中心とした「青森県 周産期医療システム」の運用

- ・総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター等の機能分担と連携による24時間対応可能な周産期の救急対応
- ・母体・胎児搬送及び新生児搬送、並びに母体胎児集中治療室 (MFICU)、新生児集中治療室(NICU)等の確保を含めた周産期医療の提供が可能な体制

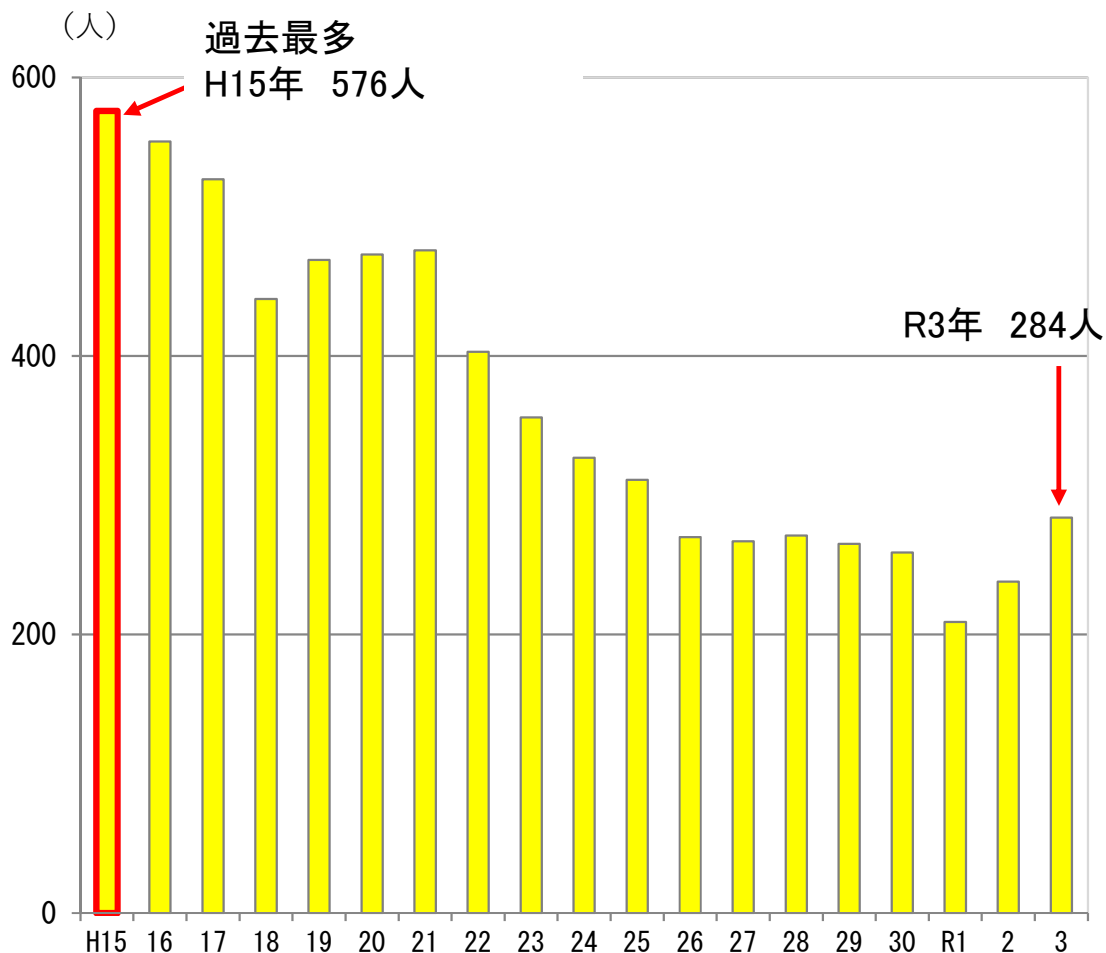
2 ハイリスク妊産婦への支援強化

- ・総合周産期母子医療センターを利用する患者・家族のための待機宿泊施設(ファミリーハウスあおもり)開設による利便性向上・負担軽減
- ・周産期母子医療センターに遠方から通院するハイリスク妊産婦が早期から安心して治療を受けられるよう、交通費等の支援体制を整備

4 自殺者数は増加。

○自殺者数 R3 : 284人 (+46人) ← R2 : 238人
(過去最多のH15年値 (576人) の49.3%)

<自殺者数の推移>



県の取組

1 いのち支える青森県自殺対策計画の推進

① 重点施策に対する支援

- ・子ども、若者を対象としたSNSを活用した相談事業
- ・生活、経済困窮者等を対象とした生活と健康をつなぐ法律相談
- ・介護支援専門員等に対するゲートキーパー養成 等

② 県民に対する普及啓発、支援体制整備

- ・メディアや薬局等を活用したところの相談窓口の周知
- ・自殺対策を推進する民間団体への支援
- ・NPO法人による電話相談事業の補助
- ・地域自殺対策推進センターによる相談、人材育成、自死遺族支援 等

③ 市町村自殺対策推進の支援

- ・市町村自殺対策等自殺対策担当者連絡会
- ・自殺対策ネットワーク連絡会(県型保健所単位で実施)
- ・中核市等自殺対策情報交換会 等

2 令和3年の自殺者数増を踏まえた対応

① 自殺者数増加について関係者間での情報共有

② メディアを活用したところの相談窓口の周知強化

(R3年度2月補正、R4年度6月補正)

③ 中小企業関係者向けゲートキーパー養成(R4年度6月補正)

④ R3年月別自殺者数増加月における普及啓発の強化

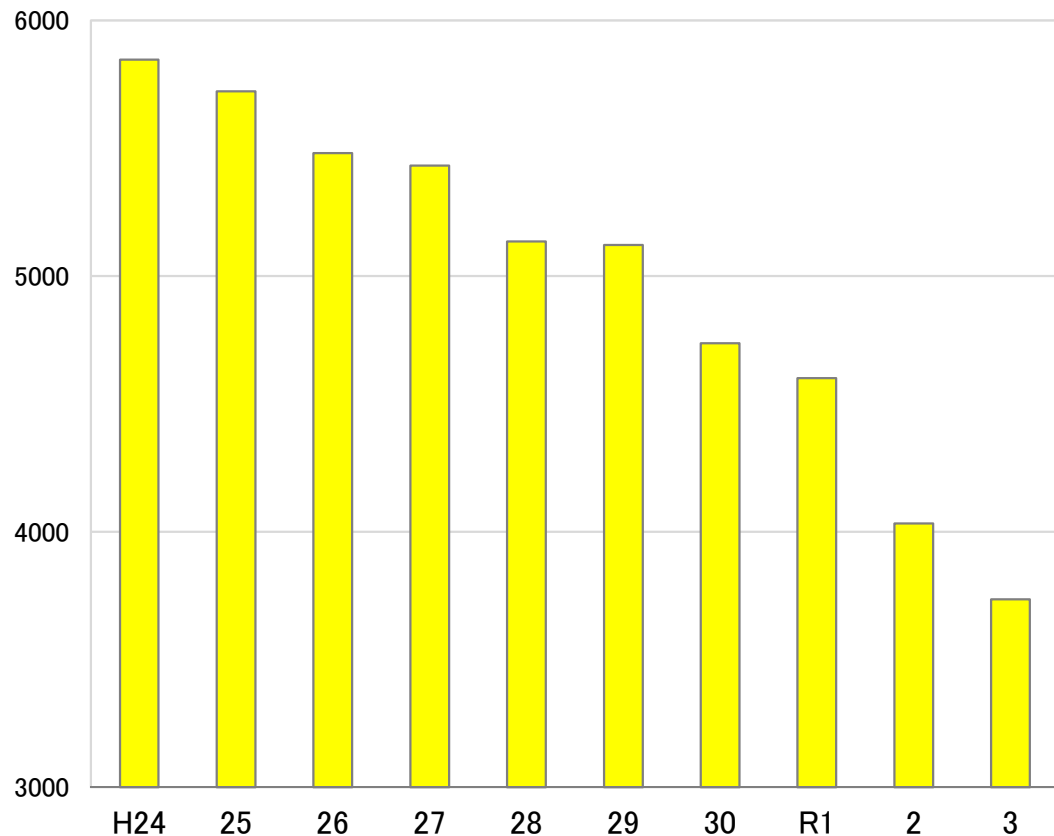
- ・LINEによる広告(全国よりも多い属性年齢層を絞って実施)
- ・テレビCM

5 婚姻件数は減少。

○少子高齢化による若年人口の減少、結婚に関する個人の価値観の変化等結婚をめぐる様々な社会的な環境の影響等により、婚姻件数は年々減少。

○婚姻件数 R3 : 3,736組 (△296組) ← R2 : 4,032組

<婚姻件数の推移>



参考: 20~49歳人口の推移(青森県男女計)

H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
444,000	437,000	428,000	416,178	407,000	399,000	389,000	377,000	373,540	358,285

県の取組

結婚応援プロジェクトの推進

1. 結婚したい男女の応援
あおもり出会いサポートセンターが県内の婚活イベント等の情報提供を行うなど、男女の出会いを支援するほか、AIを活用して結婚を希望する男女のマッチング行うシステムを新たに導入し、結婚したい男女の出会いの機会の創出に取り組む。
2. 結婚応援ネットワーク体制の強化
県や市町村、関係団体による「青森県結婚応援ネットワーク会議」を開催し、広域的な結婚支援体制の連携を強化を図る。
3. 市町村等の支援
婚活イベントを開催する市町村等を支援するため、婚活イベントアドバイザーの派遣を行う。